

医学の世界から見た 男女平等推進の現状

2021年3月6日(土)

14:00~16:00

オンライン講座

講師 富澤康子さん

(日本女性外科医会)



2018年、医科大学入学試験で女子学生の合格の機会さえ奪う差別が明るみに出たことは大きな衝撃を与えました。現在、医師国家試験では女性の合格者は3割を超え、日本外科学会での女性会員は1割近くになっているのにもかかわらず、学会の女性代議員は1%未満にとどまっています。このような状況の中で2009年、富澤康子先生等は、日本女性外科医会を立ち上げました。日本の最初の女性医師 荻野吟子の時代から、女性医師により、女性が健康状態をチェックできる環境は必要です。日本の医学界の男女平等推進の現状と女性医師が抱える問題をお話しいただき、コロナ禍の中で、日本のよりよい医療に何が必要か一緒に考えましょう。

テーマに関心がある方はどなたでも参加できます。

- ◆開催方法：オンライン(zoom)。ネットにつながるパソコン、タブレット、スマートフォンで参加できます。
- ◆定員：30名(申し込み順)※**要事前申し込み**。なお、オンライン講座の為保育はございません。
- ◆参加費：無料。オンライン通信料は自己負担してください(Wi-Fi環境があれば通信料はかかりません)。
- ◆申込：2月1日(月)～ 氏名・住所・電話番号明記の上市民協議会メールアドレスからお申し込みください。

メールアドレス：sijunokai@gmail.com

受付した方にはオンライン受講の注意事項をお送り致します。

いただいた個人情報は本企画のみに使用し、他の目的で使用することはありません。

主催 むさしの男女平等推進市民協議会